

杉本健吉《諏訪湖》

水彩画の魅力

—杉本健吉から平山郁夫まで—

開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

観覧料：一般 300円／小・中学生100円

※市内の小・中学生、各種障がい者手帳所持者とその介助者は無料

主催：岡崎市美術館 後援：岡崎文化協会／岡崎美術協会

2010年

12月1日水-19日日

月曜日休館

岡崎市美術館

岡崎市明大寺町字茶園11-3(岡崎警察署東隣)
TEL.0564-51-4280

岡崎市
美術館

水彩画の魅力

2010年

12月1日(水) - 19日(日)

月曜日休館

—杉本健吉から平山郁夫まで—



杉本健吉《蘇州の子供》



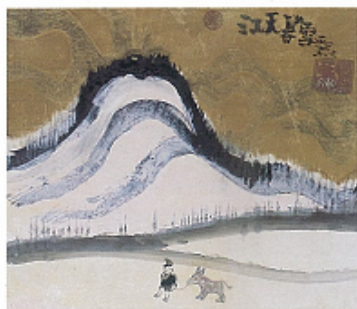
佐分 真《風景(調露)》1912年



バプロピカン《踊り子》1901年



平山郁夫《果物》1947年

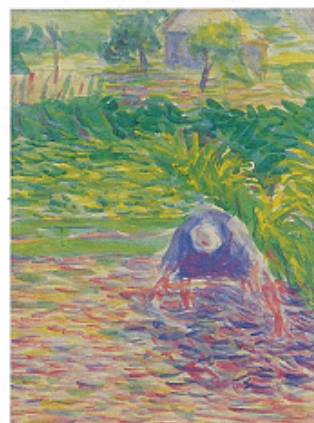


中村正義《瀟湘八景(江天暮雪)》1964年

水彩画の歴史は古く、旧石器時代のヨーロッパで洞窟に描かれた絵にまでさかのぼるといわれます。水彩はこのように長い歴史がありますが、スケッチや模写の道具として使用されるのが一般的でしたが、18世紀になると特に英国で広く普及し、独立した表現として見なおされるようになります。

日本でも、水彩画は一般的になじみのある画材として使用されていますが、近年では、水彩の持つ淡い色調、透明水彩による美しい重ね塗りの表現などが、水彩作品独自の美しさとしてとらえられて表現されるようになりました。

本展では、岡崎市が所蔵する作品の中から約100点の水彩作品を選び、その表現の多様さと奥深い魅力をご紹介します。



古賀春江《働く人》1912年



横内賢太郎《Book-phase》2005年

岡崎市美術館

岡崎市明大寺町字茶園11-3
TEL 0564-51-4280

■JRご利用の方/JR岡崎駅東口より康生町方面行き、名鉄バスで8分

※どちらの方も「岡崎警察署前」下車 徒歩5分

■名鉄ご利用の方/名鉄東岡崎駅・東岡崎バスターミナル③番乗り場、JR岡崎駅前方面行き名鉄バスで8分

●駐車場には限りがございますので、最寄りの公共交通機関をご利用下さい。

